

# 放射性物質環境動態・環境および生物への影響に関する学際共同研究 2018年度キックオフミーティング

日時：2018年6月17・18日

場所：筑波大学大学会館国際会議室

## 6月17日（日）

17:00 懇親会（会場：筑波大学大学会館レストラン）

## 6月18日（月）

9:00 受付開始

9:15 共同研究代表挨拶 恩田裕一（筑波大学） 諸連絡

### セッション1（座長：加藤弘亮）

9:25 古川雅英（琉球大学）ラドン・トリチウム測定による海底湧水探索手法の検討

9:35 熊本雄一郎（海洋研究開発機構）アーカイブ海水試料を利用した福島第一原発事故初期の放射性セシウムの動態解明

9:45 内山雄介（神戸大学）台風出水に伴う新田川起源懸濁態放射性核種の沿岸域でのインベントリ解析

9:55 樋口健太（日本医療大学）桜島の火山活動とラドン及び子孫核種濃度の解析

10:05 セッション1 総合討論

10:15-10:25 休憩

### セッション2（座長：有吉健太郎）

10:25 赤田尚史（自然科学研究機構）山形蔵王で観測される樹氷に含まれる宇宙線生成核種濃度の測定

10:35 則末和宏（新潟大学）海洋中“擬超ウラン元素”としてのBi

10:45 鈴木正敏（東北大学）福島原発事故に被災した野生ニホンザル生体試料を用いた放射線影響解析

10:55 清水良央（東北大学）高線量環境に棲息するアライグマの骨および軟骨への放射性物質の取り込みに関する加齢要因の検討

11:05 セッション2 総合討論

11:15-13:20 写真撮影・ポスターセッション・昼食

セッション3（座長：山崎信哉）

- 13:20 佐藤志彦（日本原子力研究開発機構）シンクロトロン放射光を利用した放射性微粒子の物理化学性状解明
- 13:30 内藤 健（農業・食品産業技術総合研究機構）Vigna 属耐塩性野生種の Na 輸送に関するイメージング解析
- 13:40 Ismail Md. Mofizur Rahman（福島大学）Recovery of radionuclides from washing effluent containing excess aminopolycarboxylate chelator in solution.
- 13:50 二宮和彦（大阪大学）福島県で採取された放射性セシウムを含む不溶性粒子の微量元素分析
- 14:00 大槻 勤（京都大学）放射性セシウムを含んだ不溶性エアロゾルの簡便な測定法の開発
- 14:10 セッション3 総合討論

14:20-14:30 休憩

セッション4（座長：高橋純子）

- 14:30 楠本多聞（放射線医学総合研究所）3D カメラを用いた放射線量マッピング技術の確立
- 14:40 Vasyi Yoschenko（福島大学）Identification of the factors governing the radiocesium root uptake into Japanese cedar.
- 14:50 久保田富次郎（農業・食品産業技術総合研究機構）阿武隈山地の森林小集水域からの放射性セシウムの流出
- 15:00 脇山義史（福島大学）除染が土砂および<sup>137</sup>Csの動態に及ぼす影響
- 15:10 五十嵐康人（茨城大学）森林生態系からの放射性Csのバイオ・リサスペンションに関する研究
- 15:20 セッション4 総合討論

15:30-16:00 総合討論

16:00 閉会挨拶 山田正俊（弘前大学）

ポスターセッション（コアタイム 奇数番号：11:20-12:00、偶数番号：12:40-13:20）

- A1 野田祐作（農業・食品産業技術総合研究機構）耐塩性野生種 *Vigna marina* が持つ Cs 吸収・蓄積機構の解析
- A2 松中哲也（金沢大学）日本海・オホーツク海における人為起源 I-129 の動態と海洋循環研究
- A3 田中万也（日本原子力研究開発機構）福島原発で発生する汚染水中の陰イオン放射性核種除去に関する基礎研究
- A4 北 和之（茨城大学）大気粒子と植物・菌類との放射性セシウム移行可能性の研究
- A5 阿部善也（東京理科大学）福島第一原発事故由来の放射性核種を含む非水溶性粒子の物性解明～環境中からの効率的な分離法の提案を目指して～
- A6 頼 泰樹（秋田県立大学）水稻のセシウム吸収経路の全容解明
- A7 Nathalie Leonhardt (CEA) Contribution of K transporters to Cs uptake and accumulation in rice.
- B1 鈴木杏菜（大阪大学）福島県川俣町及び浪江町で採取した土壌及びリター層の Sr-90 濃度
- B2 田中草太（京都大学）陸生無脊椎動物への放射性セシウムの移行
- B3 林 剛平（福島県立医科大学）東京電力福島第一原子力発電所事故による環境放射能汚染把握のための航空機モニタリングデータの解析
- B4 吉村和也（日本原子力研究開発機構）舗装面からの溶存態 Cs-137 溶出フラックスの評価
- B5 Christopher Gomez (神戸大学) Tree bark morphology impacts on rain-driven stemflow and water distribution using morphometric analysis.
- B6 宇都宮 聡（九州大学）高濃度放射性セシウム含有微粒子（Cesium-rich microparticle, CsMP）の本質的解明に基づく炉内の情報と環境影響
- B7 谷口圭輔（福島県環境創造センター）福島県内外の河川における放射性セシウムの形態別の濃度変化とその要因
- B8 Xinchao Sun (Tianjin Univ.) Nutrient transport and water flow velocity in xylem of forest species.
- C1 山口直文（茨城大学）波浪が作用する環境での泥質堆積物の動態：造波水路実験による検討
- C2 Olivier Masson (IRSN) Observation of atmospheric radioactive cesium and its wet deposition Research Project and modelling of resuspension and deposition processes.
- D1 真塩麻彩実（金沢大学）医療系廃棄物として水圏環境へ放出される白金，ガドリニウム，テクネチウム-99 分析法の確立
- D2 大森康孝（福島県立医科大学）天然放射性核種ラドン測定に対する放射性同位体ト

## ロンの干渉

- D3 立田 穰（電力中央研究所）底生生物消化管内堆積物の  $^{137}\text{Cs}/^{210}\text{Pb}$  濃度比による陸域起源粒子の推定手法
- D4 青山道夫（福島大学）福島沿岸域における東電福島第一原発事故起源放射性セシウムとトリチウムの分布の研究
- D5 猪股弥生（金沢大学）日本海及び北太平洋における放射性セシウム濃度の時空間変動解析
- D6 津旨大輔（電力中央研究所）福島第一原子力発電所事故による  $^{137}\text{Cs}$  の海洋中の挙動に対する河川供給の影響
- D7 張 勁（富山大学）化学トレーサーを用いた海底湧水による沿岸海域への物質輸送状況の解明に向けて
- D8 石丸隆・神田穰太・伊藤友加里（東京海洋大学）海洋の高セシウム粒子の起源
- D9 真田哲也（北海道科学大学）北海道二股ラジウム温泉の鉱泉水中ラドン濃度の測定と季節変動に関する研究
- D10 齊藤 敬（尚絅学院大学）2ノズルタイプ3Dプリンタを利用したガンマ線測定用基準線源の開発
- D11 Jian Zheng（放医研）福島第一原発事故初期モニタリング海水における難測定 Pu および Cs-135 同位体の分布解析
- E1 Donovan Anderson（福島大学）DNA Analyses to Estimate Life-time Dose from Radiation Exposures.
- E2 阿部 悠（福島県立医科大学）染色体凝縮阻害剤を用いた新規細胞遺伝学的線量評価法の確立
- E3 恵谷玲央（大分県立看護科学大学）マウス造血幹細胞の遺伝子変異の経時変化—全身照射による検討
- E4 小荒井一真（東北大学大学院）動物試料中の放射性・安定セシウムの測定
- E5 菓子野元郎（奈良県立医科大学）遅発性活性酸素が関与する放射線抵抗性獲得機構の解明
- E6 高橋 温（東北大学）福島第一原発事故後の環境に棲息するアライグマの歯の効率的な ESR 測定プロトコールの開発
- E7 香崎正宙（産業医科大学）放射線発がんと様々な DNA 修復経路との関連性についての実験系の樹立
- E8 山城秀昭（新潟大学）被災野生動物の初期胚における受精能と染色体動態解析
- E9 木野康志（東北大学）東北大学理学研究科の被災動物放射能測定の取組み
- E10 苅部甚一（近畿大学）請戸川流域における福島第一原子力発電所事故に由来する放射性ストロンチウムの空間分布
- E11 中田章史（北海道科学大学）野生動物の生物線量評価と分子マーカーの探索